

## 02 インターネット上の差別的書き込み（同和問題）

（ナレーター）皆さん、いかがお過ごしですか。福岡市がお送りする「こころのオルゴール」の時間です。今日は私、こはまもところがお届けします。

5

今も残る結婚や就職や土地に関する差別。こうした同和問題の解決は、企業にとって社会的責任の一つでもあります。福岡市の企業440社以上が加入する「福岡市企業同和問題推進協議会」では、同和問題の解決を図るため、会員企業従業員を対象に研修会やセミナーを実施しています。その中で今、最も問題視されているのがインターネット上の差別書き込みです。

10

実際にあつた書き込みを紹介します。

15

「今度、転勤になるかもしれないので、●●地区の治安を知りたい」という質問がネット上に掲載されました。それに対して、「便利などところだが、同和地区があるので、治安の面ではちよつと不安があるのは間違いない」といった書き込みがあり、この誤解や偏見に基づく回答がベストアンサーに選ばれています。しかも、自ら差別的な書き込みをしているにも関わらず、「自分は部落差別に反対しており、差別を助長する意図は一切ない」と釈明しています。

20

匿名で書き込めるネットには無責任な書き込みが氾濫して

25 おり、検索すると、正しい情報よりも誤った情報が上位に  
く傾向があります。

30 協議会事務局長の加藤圭介さんは、こう語っています。  
【加藤さん役】受講者の中には、「同和問題を知らない人」に  
ざわざ知らせる必要はなく、そつとしておけば自然に解決す  
る」という、いわゆる「寝た子を起こすな」論で、あえて部  
落差別には触れない方がいいと言う人もいます。

しかし、正しい知識を持っていない人がネット上で差別的  
な書き込みを目にとると、誤った情報が刷り込まれ、偏見や  
差別意識を助長してしまいます。

35 現にネット上で部落差別がどんどん助長されているとい  
うことは、寝ていない、みんな起きているということだ。  
研修会では、部落差別をなくすためには一人ひとりが当事者  
として自分で考えて判断することが大切だと伝えていきます。

40 (ナレーター) 不特定多数の人が目にするインターネット上  
で同和問題に対する差別的な書き込みをすることは、決して  
許されない行為です。そうした書き込みを目にしても、惑わ  
されないようにしましょう。